



Title	飯倉洋一教授略歴・業績目録
Author(s)	
Citation	語文. 2022, 116-117, p. 185-197
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/90798
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

飯倉洋一教授略歴・業績目録

(学歴)

- 一九七五年三月 長崎県立長崎西高等学校卒業
- 一九八〇年三月 九州大学文学部文学科国語学国文学専攻卒業
- 一九八三年三月 九州大学大学院文学研究科修士課程国語学国文学専攻修了
- 一九八五年三月 九州大学大学院文学研究科博士後期課程国語学国文学専攻退学
- 一九九八年九月 博士(文学)(九州大学)

(職歴)

- 一九八五年四月 九州大学文学部助手
- 一九八七年四月 山口大学教養部講師
- 一九九〇年四月 山口大学教養部助教授
- 一九九六年四月 山口大学人文学部助教授
- 二〇〇〇年四月 山口大学人文学部教授
- 二〇〇一年四月 大阪大学文学研究科助教授
- 二〇〇四年四月 大阪大学文学研究科教授
- 二〇二二年三月 大阪大学停年退職

(非常勤講師歴)

山口女子大学(山口県立大学)、福岡女子大学、筑紫女学園短期大学、福岡女学院大学、奈良女子大学、近畿大学、福岡大学、

青山学院大学、九州大学、ハイデルベルク大学、立教大学、同志社大学、放送大学

（学会等役員）

日本近世文学会

編集委員、委員、常任委員、事務局代表、広報企画委員（委員長）

絵入本学会

運営委員・代表

俳文学会

委員

人間文化研究機構国文学研究資料館

国文学文献資料（特別）調査員、共同研究員、調査収集委員会（委員長）、運営会議委員、古典籍共同事業センター拠点連携委員会委員

園田女子大学近松研究所

評議員

公益財団法人柿衛文庫

理事、柿衛賞選考委員

論著目録

〈著書〉

- (単著) 『叢書江戸文庫 13 佚斎楞山集』(叢書江戸文庫 13) 一九八八年一〇月 国書刊行会
- (共編) 『学海日録』全一一巻 別巻一 一九九二年七月 岩波書店
- (単著) 『秋成考』 二〇〇五年二月 翰林書房
- (共編) 『秋成文学の生成』 二〇〇八年二月 森話社
- (単編) 『大阪大学附属図書館蔵和古書目録第二稿』 二〇〇九年二月 大阪大学附属図書館
- (共著) 『蘆庵文庫目録と資料』(日本書誌学大系 98) 二〇〇九年一〇月 青裳堂書店
- (単編) 『大阪大学附属図書館所蔵忍頂寺文庫目録』 二〇一一年三月 大阪大学附属図書館
- (共編) 『(上方文庫 39) なにわ古書肆 鹿田松雲堂 五代のあゆみ』 二〇一二年一二月 和泉書院
- (単著) 『(阪大リーブル 39) 上田秋成 絆としての文芸』 二〇一二年一二月 大阪大学出版会
- (共著) 『小沢蘆庵自筆 六帖詠藻 本文と研究』 二〇一七年二月 和泉書院
- (単編) 『アプリで学ぶくずし字 くずし字学習アプリKULAの使い方』 二〇一七年二月 笠間書院
- (単編) 『近世文学史研究 2 十八世紀の文学』 二〇一七年六月 ぺりかん社
- (校訂代表) 『江戸怪談文芸名作選 二前期読本怪談集』 二〇一七年七月 国書刊行会
- (共編) 『文化史のなかの光格天皇―朝儀復興を支えた文芸ネットワーク』 二〇一八年六月 勉誠出版
- (共編) 『日本文学研究ジャーナル 第7号 近世後期小説の作者・読者・出版』 二〇一八年九月 古典ライブラリー
- (共著) 『翻刻『三獣演談』』 二〇一九年三月 大阪大学文学研究科日本文学国語学研究室
- (共編) 『真山青果とは何者か?』 二〇一九年七月 文学通信
- (共著) 『古典は本当に必要なのか? 否定論者と議論して本気で考えてみた』 二〇一九年九月 文学通信

〈研究成果報告書〉

- 『明和九年刊書籍目録所載「奇談」書の研究（1999～2001年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書』二〇〇二年三月
- 『忍頂寺文庫・小野文庫の研究（2005年度大阪大学大学院文学研究科共同研究報告書）二〇〇六年三月
- 『「奇談」書を中心とする近世中期上方仮名読物史の構築（2004～2006年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書）二〇〇七年三月
- 『忍頂寺文庫・小野文庫の研究2（2006年度大阪大学大学院文学研究科共同研究（国文学研究資料館研究連携事業）研究成果報告書）二〇〇七年三月
- 『テクストの生成と変容（大阪大学大学院文学研究科広域文化表現論講座共同研究研究成果報告書）二〇〇八年三月
- 『忍頂寺文庫・小野文庫の研究3（2008年度大阪大学大学院文学研究科共同研究（国文学研究資料館研究連携事業）研究成果報告書）二〇〇九年三月
- 『忍頂寺文庫・小野文庫の研究4（2009年度大阪大学大学院文学研究科共同研究（国文学研究資料館研究連携事業）研究成果報告書）二〇一〇年三月
- 『上田秋成の和文作品本文の生成と変容についての研究 上田秋成「文反古」注釈稿』（2007-2009年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書）二〇一〇年三月

- 『忍頂寺文庫・小野文庫の研究5（2010年度大阪大学大学院文学研究科共同研究（国文学研究資料館研究連携事業）研究成果報告書）二〇一一年三月
- 『国文学研究資料館公募共同研究 近世風俗文化学の形成—忍頂寺務草稿および旧蔵書とその周辺』国文学研究資料館二〇一二年三月
- 『近世上方文壇における人的交流の研究（2010-2013年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）研究成果報告書）二〇一四年三月
- 『日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築クラスター成果報告書（2014年度）』二〇一五年三月

〈論文〉

- 秋成の「私」の説について
『「自然」の意味—秋成の理想と現実—
翻刻『やまと怪異記』上
秋成における「憤り」の問題—『春雨物語』への一視点—
『阿刈菟』上篇と宗武・宇万伎の「仮字問答」
宇万伎の古道論
- 一九八〇年一二月 『語文研究』第五〇号
一九八二年六月 『語文研究』第五二・五三号
一九八三年六月 『江戸時代文学誌』第三号
一九八四年五月 『文学』第五四卷第五号
一九八五年二月 『文献探究』第一五号
一九八五年九月 『文献探究』第一六号

翻刻『やまと怪異記』下―附・解題―

秋成と分度―『安々言』試論―

春雨物語序文考

「海賊」考

身のうさは人しも告じ―「浅茅が宿」作中歌補注―

常盤潭北論序説―俳人の庶民教化―

いぶかしき世のさま―「二世の縁」私見―

奇談から読本へ

本居宣長と妙法院宮

大田南畝の在坂生活

妙法院宮サロソ

潭北の教訓本―『野総老話』をめぐって

小品物語の世界―「月の前」「剣の舞」「鴛央行」「背振翁伝」―

和文の思想―雅俗論の視点―

「血かたびら」の文体

西原晁樹資料―立花織衛宛書簡五通―

『近世畸人伝』と伴蒿蹊

語りと命禄―富岡本「天津処女」論―

西原晁樹の文事―著述解題―

一九八五年十一月 『江戸時代文学誌』第四号

一九八六年七月 『文学』第五七巻七号

一九八七年二月 『文学研究』（九州大学文学部）第八四輯

一九八九年三月 『江戸時代文学誌』第六号

一九九一年九月 『文献探究』第二八号

一九九一年十二月 『江戸時代文学誌』第八号

一九九二年九月 『読本研究』第六輯

一九九三年五月 『日本の近世 12（文学と美術の成熟）』（中

央公論社）

一九九四年七月 『江戸文学』第二二号

一九九四年十一月 『論集近世文学5 共同研究上田秋成とその

時代』勉誠社

一九九四年十一月 『論集近世文学5 共同研究上田秋成とその

時代』勉誠社

一九九五年一月 『雅俗』第二号

一九九五年六月 『国文学解釈と教材の研究』第四〇巻第七号

一九九五年七月 『季刊文学』第六巻第三号

一九九六年一月 『雅俗』第三号

一九九七年三月 『山口国文』第二〇号

一九九七年六月 『歴史読本』第四二巻第六号

一九九八年一月 『雅俗』第五号

一九九八年三月 『山口国文』第二二号

富岡本「血かたびら」の〈語り〉について

人麿・宗椿・無腸―「ぬば玉の巻」の言説構造―

近世小説に伏在する中古物語―秋成を例に―

老曾の森の物語―「目ひとつの神」私見―

「長物がたり」の系譜―春雨物語論のために―

『文反古』の成立―稿本から刊本へ―

「奇談」の場

秋成と天覧―『神代がたり』試論―

「秋山記」の再検討―「めめしさ」の意味するもの―

祇徳の立場―「俳諧古学」について―

談義本が描く江戸

「奇談」史の一齣

上方の「奇談」書と寓言―『垣根草』第四話に即して―

日本近世〈小説〉と寓言（韓国語）

日本近世小説史の新領域―「奇談」という書物たち―

「人はばけもの」―『西鶴諸国はなし』の発想―

浮世草子と読本のあいだ

齊物論（翻刻・解題）

大江文坡と源氏物語秘伝―〈学説寓言〉としての『怪談とのみ袋』冒頭話―

一九九八年六月

一九九八年十一月

一九九九年六月

一九九九年六月

二〇〇一年二月

二〇〇二年一月

二〇〇二年五月

二〇〇二年十二月

二〇〇三年五月

二〇〇三年六月

二〇〇三年十二月

二〇〇四年三月

二〇〇四年五月

二〇〇四年十二月

二〇〇五年二月

二〇〇五年三月

二〇〇五年六月

二〇〇五年十二月

二〇〇六年二月

『近世文藝』第六八号

『富士フェニックス論叢 中村博保教授追悼
特別号』

『国文学 解釈と教材の研究』第四四卷第二号

『語文研究』第八六・八七号

『江戸文学』第二二号

『雅俗』第九号

『語文』（大阪大学国語国文学会）第七八号

『待兼山論叢（文学編）』第三六号

『江戸文学』第二八号

『国文学 解釈と教材の研究』第四八卷第八号

『国文学 解釈と鑑賞』第六八卷第一二号

『日本古典文学史の課題と方法 漢詩 和歌
物語から説話唱導へ』和泉書院

『上方文藝研究』第一号

『古典文学研究』（韓国古典文学会）第26輯

『韓国日本学会第70回学术大会 予稿集』

『国文学 解釈と鑑賞 別冊 西鶴 挑発する
テキスト』

『国文学』第五〇卷第六号

『雅俗文叢』汲古書院

『語文』第八四・八五輯

「菊花の約」の読解

二〇〇六年三月

『テキストの読解と継承 大阪大学文学研究
科広域文化表現論講座共同研究研究成果報
告書』

忍頂寺文庫蔵 七代目団十郎の配り本二種（共著）

二〇〇六年三月

『忍頂寺文庫・小野文庫の研究』

翻刻 忍頂寺文庫蔵 七代目団十郎の配り本三種―『遊行やまざる』『旅中腰かけざる』『な、ゑびぞ』―（共著）

二〇〇七年三月

怪異と寓言―浮世草子・談義本・初期読本―

二〇〇七年三月

『忍頂寺文庫・小野文庫の研究2』

初期読本

二〇〇七年十一月

『西鶴と浮世草子の研究』第二号

秋成和文の生成―『文反古』の生成―

二〇〇八年二月

『読本（よみほん）事典』笠間書院

開かれたテキストへ―刊本『文反古』への変容―

二〇〇八年二月

『秋成文学の生成』森話社

『春雨物語』論の前提

二〇〇八年三月

『テキストの生成と変容』（大阪大学大学院
文学研究科広域文化表現論講座）

『文反古』の版下筆者

二〇〇八年五月

『国語と国文学』第八五巻第五号

未紹介〔秋成消息文集〕について

二〇〇八年五月

『上方文藝研究』第五号

濫觴期絵本読本における公家・地下官人の序文

二〇〇九年一月

『文学 隔月刊』第一〇巻第一号

尼子経久物語としての「菊花の約」

二〇〇九年五月

『江戸文学』四〇号

秋成における「いつはり」の問題―『春雨物語』を中心に―

二〇〇九年一〇月

『日本のことばと文化』溪水社

秋成における古今集序の引用―『ぬば玉の巻』から『春雨物語』まで

二〇一〇年二月

『日本研究』一三（高麗大学日本研究セン
ター）

秋成における古今集序の引用―『ぬば玉の巻』から『春雨物語』まで

二〇一〇年八月

『国文学解釈と鑑賞』第七五巻第八号

交誼と報謝―秋成晩年の歌文―

二〇一〇年十一月

『語文』第九五輯

秋成晩年の浄瑠璃―『胆大小心録』・『春雨物語』を中心に―

二〇一〇年十二月

『近松研究所紀要』第二二号

中井履軒・上田秋成合賛鶉図について（共著）

二〇一二年二月

『懷徳堂研究』第三号

近代歌謡考説とその周辺

二〇二二年三月

『国文学研究資料館公募共同研究 近世風俗文化学の形成―忍頂寺務草稿および旧蔵書とその周辺』

近世文学の一領域としての「奇談」

二〇二二年一〇月

和文

二〇二五年一月

王昭君詩と大石良雄―『新斎夜語』第一話の「名利」説をめぐって―

二〇一五年一二月

木越治氏へ―「菊花の約」の尼子経久は論ずるに足らぬ人物か

二〇一六年五月

前期読本における和歌・物語談義

二〇一七年六月

妙法院宮真仁法親王の文芸交流―『妙法院日次記』を通して、和歌を中心に―

二〇一八年六月

『作者評判千石篩』考

二〇一八年九月

秋成の学問は創作とどう関わるのか

二〇一九年九月

『絵本太閤記』『淀君行状』と『唐土の吉野』

二〇二〇年八月

未来に活かす古典―「古典は本来に必要なのか」論争の総括と展望

二〇二〇年一〇月

近世中期における「テキスト遺産」と「作者」

二〇二一年一〇月

雅俗往来のなかの秋成―上方の人的交流のなかで

二〇二一年一二月

〈書評〉

紹介 五所美子著『歌人上田秋成』

一九八八年六月

書評 山下久夫『本居宣長と「自然」』

一九八四年四月

『語文研究』第六五号

『日本文学』第三八巻第四号

『日本文学』第六一卷第一〇号

『上田秋成研究事典』笠間書院

『語文』第一〇五輯

『リポート笠間』第六〇号

『近世文学史研究二』ペリかん社

『文化史のなかの光格天皇―朝儀復興を支えた文芸ネットワーク』勉誠出版

『日本文学研究ジャーナル』第七号

『古典文学の常識を疑うⅡ 縦・横・斜めから書き換える文学史』勉誠出版

『語文』第一一四輯

『古典の未来学』文学通信

『古典は遺産か？日本文学におけるテキスト遺産の利用と再創造』勉誠出版

『アナホリッシュ國文学』第九号

書評 美山靖著『秋成の歴史小説とその周辺』

書評 日野龍夫『服部南郭伝攷』

回顧と展望（日本近世）

書評 長島弘明『秋成研究』

平成二三年度国語国文学界の展望 近世（小説）

学界時評 近世

学界時評 近世

学界時評 近世

学界時評 近世

大輪靖宏編『江戸文学の冒険』

書評 稲田篤信『名分と命禄―上田秋成とその時代―』

学界時評 近世

紹介 西田耕三『主人公の誕生』

学界時評 近世

生涯・万物の霊・主人公―西田耕三の「起源」―

論評 高野秀晴「談義本に見る宝暦期江戸民衆教化の一端」

書評 高田衛著『春雨物語論』

書評 大高洋司『京伝と馬琴（稗史もの）読本様式の形成』

根ヶ山徹・尾崎千佳編『山口大学所蔵和漢古典籍分類目録』

一九九五年三月

一九九五年五月

一九九六年五月

二〇〇二年一月

二〇〇三年二月

二〇〇五年九月

二〇〇六年三月

二〇〇六年九月

二〇〇七年三月

二〇〇七年五月

二〇〇七年六月

二〇〇七年九月

二〇〇七年一〇月

二〇〇八年三月

二〇〇八年三月

二〇〇八年八月

二〇一〇年七月

二〇一一年一月

二〇一三年二月

『国語と国文学』第七二巻第三号

『国文学解釈と教材の研究』第四四巻第六号

『史学雑誌』第一〇五編第五号

『国語と国文学』第七九巻第一号

『文学・語学』第一七五号

『国文学解釈と教材の研究』第五〇巻第九号

『国文学解釈と教材の研究』第五一巻第三号

『国文学解釈と教材の研究』第五一巻第九号

『国文学解釈と教材の研究』第五二巻第三号

『週刊読書人』二二六八七号

『国語と国文学』第八四巻第六号

『国文学解釈と教材の研究』第五二巻第一一

号
『国文学解釈と教材の研究』第五二巻第一二

号
『国文学解釈と教材の研究』第五三巻第四号

『文学・芸術・文化（近畿大学文学部論

集』第一九巻第二号

『日本教育史研究』第二七号

『日本文学』第五九巻第七号

『図書新聞』

高橋明彦『模図かずお論』

書評 高田衛著『秋成 小説史の研究』

新刊この一冊『小津久足の文庫』菱岡憲司著

傑作に潜む蠱惑的な謎——上田秋成『春雨物語』の新出自筆本——

〈辞典・図録〉

『西日本未刊善本展』（項目執筆）

『朝日日本歴史人物事典』（項目執筆）

『俳文学大辞典』（項目執筆）

『日本古典文学研究史大事典』（項目執筆）

『日本古典文学大事典』（項目執筆）

『特別展観没後200年記念上田秋成』（項目執筆）

『上田秋成 没後二〇〇年記念』（編集・項目執筆）

『仙台忍頂寺家所蔵資料目録』（共著）

『和歌文学大辞典』（項目執筆）

『浮世草子大事典』（コラム執筆）

〈その他〉

常盤潭北論序説——俳人の庶民教化——

戯作、俗

先哲叢談聚議（二） 五井持軒

大村蘭台

二〇一五年一〇月 『西日本新聞』

二〇一五年五月 『日本文学』第六四卷第五号

二〇一七年三月 『中央公論』第一三一巻第四号

二〇二一年七月 ALL REVIEWS (WEB書評誌) 八木書店

一九八五年一一月 九州大学文学部国語国文学研究室

一九九四年一一月 朝日新聞社

一九九五年一〇月 角川書店

一九九七年一一月 勉誠出版

一九九八年六月 明治書院

二〇一〇年七月 京都国立博物館

二〇一〇年一〇月 日本近世文学会

二〇一一年三月 『調査研究報告』第三一号 国文学研究資料館

二〇一四年一二月 古典ライブラリー

二〇一七年一〇月 笠間書院

一九九三年九月 『柿衛文庫友の会ニュース』第一八号

一九九三年九月 『国文学 解釈と教材の研究』第四〇巻第九号

一九九五年一月 『雅俗』第二号

一九九五年三月 『西国大名の文事』葦書房

刊記をめぐるシンポジウム（共著）

西原晁樹のこと

談義本

市史抄片／編さんだより／43 西原晁樹と『なるべし』

危機に立つ文系基礎学

西原晁樹、富士谷成章・御杖

私の研究 ひとつの注釈から

日本文学、その可能性 基調講演コメント・報告概要「奇談史の可能性」

忍頂寺文庫・小野文庫の研究について

（影印）『莊子絵抄』解説と影印

享保以後大坂出版書籍目録による古文字屋市兵衛刊行年表稿（享保／安永）（共著）

「忍頂寺文庫・小野文庫の研究」の展開

秋成と住吉御田植神事

秋成研究の道のり（木越治との対談）

テキストが生まれる時、テキストが変わる時―共同研究「テキストの生成と変容」をふりかえって―

二〇〇八年三月

上田秋成と兼霞堂

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 一九九五年三月 | 『調査研究報告』第二十六号 国文学研究資料館 |
| 一九九六年五月 | 『県史だより』第八五号 福岡県地域史研究所 |
| 一九九七年六月 | 『時代別日本文学史事典近世編』東京堂出版 |
| 一九九八年七月 | 『市報やながわ』第四七二号 |
| 一九九九年五月 | 『西日本新聞』西日本新聞社 |
| 二〇〇二年九月 | 『新柳川明証図会』 |
| 二〇〇〇年三月 | 『YU-information』四八号 山口大学広報委員会 |
| 二〇〇四年二月 | 『愛媛大学教育学部紀要第Ⅱ部人文・社会科学』第三十六卷第二号 |
| 二〇〇六年三月 | 『忍頂寺文庫・小野文庫の研究』 |
| 二〇〇七年三月 | 『「奇談」書を中心とする近世中期上方仮名読物史の構築』 |
| | 『「奇談」書を中心とする近世中期上方仮名読物史の構築』 |
| 二〇〇七年三月 | 『「奇談」書を中心とする近世中期上方仮名読物史の構築』 |
| 二〇〇七年三月 | 『忍頂寺文庫・小野文庫の研究2』 |
| 二〇〇七年十一月 | 『やそしま』創刊号 上方文化芸能協会 |
| 二〇〇八年二月 | 『秋成文学の生成』森話社 |
| 二〇〇八年三月 | 『テキストの生成と変容』大阪大学大学院文学研究科広域文化表現論講座 |
| 二〇〇八年十二月 | 『木村兼霞堂顕彰会会報』第八号 |

(座談会) 上田秋成(長島弘明、木越治、稲田篤信)

モノとしての古書こそ

韓国で進む日本文学研究

忍頂寺文庫・小野文庫の研究―二〇一〇年度―

上方文藝研究の現在(8) 上方文藝研究の会

逆境こそチャンス

ニース・シエレ美術館所蔵『北斎漫画』についての調査報告(共著)

秋成と「神医」谷川兄弟

江戸文・雅俗・上文―研究同人誌と私

上田秋成と懷徳堂

La Manga de Hohusai conservée Au Musée Cheret de Nice (共著)

西鶴読解の壁―「ワークシヨップ 西鶴をどう読むか」報告を兼ねて

コラボは楽しくくずし字解読支援ソフトの開発

学生にお勧めの一冊 歌舞伎入門

国際シンポジウム「読みたい!日本の古典籍」報告

「くずし字」学習支援アプリKUZUSHIについて

二〇〇九年一月

二〇〇九年八月

二〇一一年一〇月

二〇一一年三月

二〇一一年六月

二〇一一年六月

二〇一二年三月

二〇一二年三月

二〇一二年六月

二〇一三年

二〇一三年三月

二〇一三年一月

二〇一四年一月

二〇一五年一月

二〇一六年七月

二〇一七年一月

『文学 隔月刊』、第一〇巻第一号

『日本古書通信』第九六一号

『産経新聞』

『忍頂寺文庫・小野文庫の研究5』

『上方文藝研究』第八号

『西鶴と浮世草子の研究』第五号

『京都市立芸術大学美術学部研究紀要』第五
六号

『柿衛文庫企画展 神医と秋成 谷川家資料
にみる』

『雅俗』第一一号

『記念会だより』(財)懷徳堂記念会

『京都市立芸術大学美術学部研究紀要』第五
七号

『リポート等間』第五一号

『みをつくし』第五五号 放送大学大阪学習セ
ンター

『みをつくし』第五七号 放送大学大阪学習セ
ンター

『和本リテラシーニュース』第二号 日本近世
文学会

『専門図書館』二八一号 専門図書館協議会

KEUAの誕生

自著を語る 番外編『アプリで学ぶくずし字』

十八世紀の文学

古典籍を開くために

巻頭言 江戸の「奇談」書

上田秋成と令和

インタビュー 現代人と古典・古文の間の「距離感」

「投企する古典性」としての「ないじえる芸術共創ラボ」

なぜ古典が必要か論理化を

二〇一七年二月

『アプリで学ぶくずし字』笠間書院

二〇一七年二月

『日本の古本屋メールマガジン』第二二一号

二〇一七年六月

『近世文学史研究二』ペリカン社

二〇一八年一〇月

『国文研ニューズ』五三号

二〇一八年五月

『みをつくし』第六九号 放送大学大阪学習

センター

二〇一九年五月

『西日本新聞』

二〇二〇年一月

『待兼山文学』一三 待兼山文学会

二〇二一年二月

『時の束を披く』国文学研究資料館

二〇二一年一月

『西日本新聞』